



千代小学校 建替検討委員会ニュース



はじめに

千代小学校は校舎が築68年を経過し、福岡市内でもっとも古い校舎となっており、校舎の老朽化に伴い、建替えを実施することとしております。

また、千代小学校は子どもの数が少ない小規模校となっており、小規模校には課題があることから、建替えを機に、今後のよりよい学校のあり方についてあわせて検討するため、「千代小学校建替検討委員会」設置しました。

将来にわたって子ども達の適切な教育環境を確保するために、本委員会では、建替えの方向性などについて、協議していきます。

第1回委員会の協議内容、主な意見

協議内容

- 千代小学校の現状、学校規模適正化の取り組み手法（周辺小学校【博多小/堅粕小/吉塚小/東吉塚小/馬出小】との統合、施設一体型による小・中学校整備）、今後のスケジュール等について説明し、意見交換を行いました。

主な意見

- （通学距離等のデメリットや千代小の名前が無くなることを踏まえると）他の小学校との統合は考えられない。
- 小中の施設を一体型にした場合、学級数は増えなくとも、小から中への円滑な移行や縦割り学習などの教育効果が多くあり、メリットがある。
- 建替えを機に千代町の魅力あるまちづくりに繋がり、人が増えるきっかけになるかもしれない。
- 小中学校を一体型で整備する場合、千代中だとグラウンドがさらに狭くなるため、千代小に建てた方が敷地が広く望ましいのではないか。

今後の進め方

- 第1回委員会の協議内容（建替えの取り組み手法）を委員の皆様の各所属団体で議論していただき、意見を集約していただきます。
- 次回の委員会（5月中旬予定）に意見集約結果をもとに議論を進め、取り組み手法を決定していきます。

委員の構成

千代校区自治協議会及び千代小学校・千代中学校PTA役員の中からご推薦いただいた方、公民館・まちづくり館の館長、各学校長、教育委員会で構成する13名の委員で検討を進めていきます。

◇千代校区自治協議会の役員	3名
◇千代小学校と千代中学校のPTA役員	4名
◇千代公民館と千代人權のまちづくり館の館長	2名
◇千代小学校と千代中学校の校長	2名
◇福岡市教育委員会	2名

第1回委員会を開催しました

日時：令和6年3月4日（月）18：30～

場所：千代公民館 講堂

議題：委員会規約案及び傍聴要領案について

千代小学校の建替えの検討について

《詳細は裏面参照》



お問い合わせ先

千代小学校建替検討委員会事務局
（教育委員会通学区域課）

TEL：711-4252 FAX：711-5539

E-mail：tsugaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

千代小学校

児童数：190人
学級数：9学級（うち特別支援学級2）

千代中学校

生徒数：99人
学級数：5学級（うち特別支援学級1）

千代校区は小学校1校・中学校1校からなる校区です。千代小中ともに小規模校となっており、今後もこの状況が続く見込みです。

学校規模適正化の取り組み手法案

学校の統合

2つ以上の学校を統合して、適正な学校規模にするもの

- ・クラス替えができるようになるなど、人間関係の固定化などの課題解消を図ることができます。
- ・校区変更による地域コミュニティへの影響や、通学距離が長くなることによる子どもの負担増などを考慮する必要があります。
- ・地域活動やPTA活動は行政区を単位に行われており、また小・中学校は中学校区の中で教育活動や地域活動において密接な関わりを持っているため、原則同じ行政区、中学校区の中で検討します。

施設一体型による小・中学校整備

小学校と中学校の校舎を1つにして整備するもの

- ・実質的な児童生徒数が増加することで、学校行事の幅が広がったり、学習をする上で色々な形の集団を作ることや、学年を超えて多くの人と交流する機会を持つことができるようになり、社会性を育て、切磋琢磨し、多様な考え方に触れる機会をつくることができると期待できます。
- ・小学校から中学校へのスムーズな移行、小・中学校の9年間を見通した教育活動の充実など、小中連携教育の充実を図ることができます。

<施設一体型で整備する場合の校地の比較案>【イメージ】

	(案1) 千代小校地	(案2) 千代中校地
校地図 及び 建替え イメージ		
建築年	昭和30年（築68年）	昭和60年（築38年）
校地面積	15,059㎡	12,651㎡
整備手法	既存の校舎を解体し、新しく小中学校校舎の建設を検討する。	校舎の築年数が浅いことから、既存校舎の活用・増築を含め検討する。

※校舎配置等はイメージであり、委員会での協議結果を踏まえ具体的に検討します。